



## 自己肯定感・自己有用感を高めるために！

### ～子どもを置き去りにしない7つの確認～

本校では、日常の授業においても、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を意識し、特に、子どもたちの自己肯定感・自己有用感を高めることをねらい、校内研究を進めた結果、下の「子どもを置き去りにしない7つの確認」が大切であることが明らかになりました。

子どもたちにとって、主体的・対話的で深い学びとなるためのポイント  
～子どもを置き去りにしない7つの確認～

本校の学習過程（活動）		子ども一人一人に対する教師の働きかけ
導 つ か む 入	問題（場面）と出会う	○ 問題の中味について理解しているのか確認
	学習課題を把握する	○ 学習課題を把握しているのか確認
	解決の見通しをもつ	○ 自力で解決するための見通し（方法等）をもっているのか確認
1. 今日の「課題」は、分かりますか？ 2. これから何をどのように考える（する）とよいのか分かりましたか？		
展 か ん が え る	自力で解決する	○ この学習活動（自力解決）の中で、何をするとよいのか分かっているのか確認 注意 ・何を考える（する）とよいのか分かっていない ・何もできていない ・集団解決（話し合い活動）に向けて考えをもっていない 等 ※子どもたちに共感的に関わってやり、分かるように丁寧に対応してやる。
	3. 今、何を考える（する）とよいのか分かっていますか？ 4. 次にいくけれども、いいですか？	
開 ふ か め る	集団で解決する ・ペア ・グループ ・学級全体 子ども一人一人の考えを 広げ深めてやる ことが大切！	○ この学習活動の中で、何をするとよいのか分かっているのか確認 注意 <ペア・グループ> ・何を話し合えば（すると）よいのか分かっていない ・どんな話し合い方をするとよいのか分かっていない
	特に！	○ 子ども一人一人が、全体交流（答え合わせ等）の中で、思いや考えが深まって（ちゃんと分かって）いるのか確認（振り返る）
5. 【一人の発表で終わらずに】同じこと（違うこと）を思った（考えた）人？ ここまでいいですか？		
終 ま と め る	まとめ	○ 「まとめ」は、学習課題に正対させ、「まとめ」について確認（振り返る）
	6. 「まとめ」のこのことは、黒板の中のこのことですが、分かりましたか？	
	振り返る	○ 「何が分かったのか」、「何ができるようになったのか」等、具体的な「振り返り」ができていますか確認【次につなげることが大切】
7. 何が分かった（できるようになった）のかについて書きましたか？		



本校の教員は、多様な子どもたちが、分からないことを分からないままにしないように、または、できることをできないままにしないように、子どもたちに確認しながら指導することを日々心掛けています。